

1期 第3回 研修のようす

実施日時：令和7年9月11日（木）午前9時15分から午前11時50分

実施方法：オンライン開催（Zoomworkplace）

学校と地域の連携・協働において大切にしてほしいこと



ゆめ☆まなびネット代表・コーディネーター
大阪府立富田林中学・高等学校 学校運営協議会 副会長
河内長野市立美加の台小・中学校 学校運営協議会 副会長
大阪府・奈良県社会教育委員
和歌山県教育委員会 きのくにCSマイスター
文部科学省 CSマイスター 大谷裕美子



文部科学省CSマイスター

ゆめ☆まなびネット

代表 大谷 裕美子 氏を講師にお招きし、御講演いただきました。

支援から協働へ 協働とは Win-Winの関係

立場が異なる人たちが、同じ目的・ビジョンに向かって
対等の立場でともに活動すること

- | | |
|--------------|----------------------|
| ・お手伝いではなく | ➡ 自身の活動の一部である |
| ・言われたからではなく | ➡ 自主的・自発的である |
| ・他人事ではなく | ➡ 当事者意識をもって |
| ・負担感ではなく | ➡ 自己有用感がうまれ生きがいにつながる |
| ・学校のためだけではなく | ➡ 地域のためにも |

《できる人が・できる事を・できる時に・楽しく！》

課題 現場教員の実際の声～困り感～



校長
社会と直結した学び！
産官学協働による教育活動！

自分の授業準備で精一杯…
(教科指導)

協力してくれる企業を新規開拓…
今年は無理と言われた… (営業活動)

生徒が失礼なことをしたら謝罪 (責任)

初めての探究学習を指導。どうしたら… (不安)

クラブ・保護者対応・生徒指導・行事・成績… (多忙)

企業の担当者と連絡がつかない… (行き違い多発)

学校の先生方の
負担感を軽減

地域学校協働活動の具体的な展開をめざすための活動の実際

連携企業決定までを
学校運営協議会委員・コーディネーターズが実働！

大人の本気

実務

- ①連携希望先へ探究学習の説明およびアポ取り
- ②受け入れの承諾・訪問日などの調整
- ③連携企業の決定



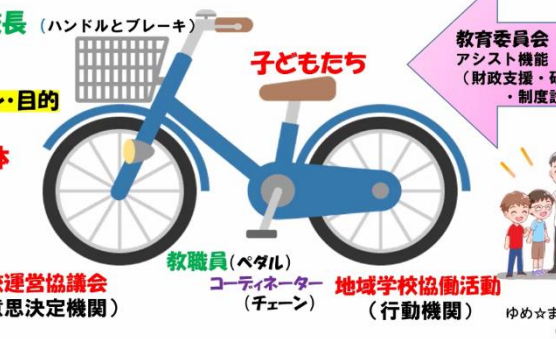
教職員からの実際の声

教員の負担が 激減！

- ① 生徒(授業内容)に集中できる。
- ② 教員からの連絡は基本メールのみ。
- ③ 探究学習の内容を事前に理解してもらえてるので企業への提案などを思い切ることができる。

* 教員の社会人としての知識・経験もアップ！
教科指導と社会のつながりを意識するようになった！

コミュニティ・スクールは OK⇒LET'S
学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的推進で！



校長 (ハンドルとブレーキ)

子どもたち

教育委員会 アシスト機能 (財政支援・研修・制度設計等)

合議体

教職員 (ペダル) コーディネーター (チェーン)

学校運営協議会 (意思決定機関)

地域学校協働活動 (行動機関)

ゆめ☆まなびネット OOTANI

コミスク算

「+」 たすけあうと 大きな力に
「-」 ひきうけると 喜びが生まれる
「×」 声をかけると 一つになれる
「÷」 かかると 笑顔が帰ってくる

